

Focus

未来の科学者・技術者を育てる

科学技術立国として世界に誇る発展を続けてきた日本。人口減少社会へと転じた中で、今後も学術研究や産業のあらゆる領域で革新を起こし、持続可能な成長を実現していくためには、科学技術分野の未来を担う人材の育成にいっそう力を入れなければならない。

特に現在、科学技術の大きなテーマの1つとなっているのが、6年前に起きた東日本大震災と原子力発電所事故からの復興である。被災地の再生はわが国全体の成長へとつながっていく。その

ために、科学、技術、産業振興といったさまざまな面で活躍できる若い力と頭脳が求められている。

そうした人材育成の取り組みの中から、福島第一原子力発電所の廃炉現場を課題としたロボットコンテストを通じ、科学技術人材の育成をめざす「廃炉創造ロボコン」と、スーパーサイエンスハイスクール福島県立福島高等学校における、未来の科学者・技術者を育てる活動を紹介する。



研究室でロボットを調整する大阪府大高専の土井智晴准教授と学生たち



放射線測定値の分析結果について討論する福島高校の原尚志教諭と生徒たち